

【文具批評】

クツワ株式会社製

ペン磁ケシ

ペンケースに一本！ 淑女の嗜み

はじめに

1. 使用感
2. パッケージ、ロゴについて
3. カラーバリエーション
4. あったらいいな！こんな機能

はじめに

本稿ではクツワ株式会社「ペン磁ケシ」の新色を取り上げる。まずは、この"ペン磁ケシ"がそもそも何なのかをご存知ない方のために、公式サイト (<https://www.kutsuwa.co.jp/items/re034/>) 掲載の説明を掲げておこう。

特徴

- ・フェライト（鉄粉）入りの消しゴムで消しクズが磁石で集められます
- ・ペンキャップにネオジム磁石が内蔵してあり、消しクズを集め、ワンタッチでゴミ箱に捨てられます
- ・細かいところまでよく消せるペンタイプの日本製消しゴム
- ・替え消しゴムは別売りの RE035 をご使用ください
- ・特許出願済

さて今回は、新色であるピンク(次ページ写真右端)を書店にて購入し実際に使用した。その使用感や、パッケージなどから感じたことなどを一女子大学生の視点より僭越ながら批評させていただく。



1. 使用感

一般的な形状の固形消しゴム(以下、一般的な消しゴム)と比較したロック式の消しゴムのメリットとして、ペンケースのスペースの節約が叶うということ、また消しゴムのサイズにもよるが見失いにくいといった点が挙げられる。

小学生の時に使用していたロック式消しゴムのイメージから、一般的な消しゴムより折れやすく、消しにくいといったイメージを抱いており、どちらかというあまり大人が使うものではない文房具というイメージを抱いていた。

筆者は B5 のシャー芯を使用、筆圧強めで普段ノートをとる感覚でルーズリーフに文字を書いて使用した。とても綺麗に消え、消しゴムの強度も十分で、折れる心配もなかった。出た消しゴムのカスは、ペン字消し上部の磁石に見事にくっつき(右図)、ワンタッチでゴミ箱に捨てることができる。ちりとりや指で残った消しカスを回収する必要もなく外出先でも使いやすい。スリムペンケースに一本入れておいて必要に応じてさっと取り出して消すと、仕事のできる大人になったような気分を味わえるのではないかと。



鉄分をふくむ消しカスが磁石の部分に付着(筆者撮影)

2. パッケージ、ロゴについて

従来のペン字消し(レッド・ブルー・ホワイト)と比較した、パッケージの変化に着目する。

黒い紙台紙に透明な袋のパッケージから、ギフトラッピングにも使用されるような立体的なプラスチックのケースへと変化している。また、商品状に印字されている「zikeshi」のロゴも変更されており、柔らかい字体となっている。路地裏の北欧雑貨屋においてあっても不思議ではないような印象を受けた。新色は、若い女性だけでなく幅広い世代が手に取りやすいデザインとなっているように感じ、女性へのささやかなプレゼントにも最適なのではないかと思う。

3. カラーバリエーション

新色のラインナップは、オールホワイト、グレー、ピンクの優しい色合いでどの色を購入するか熟考した。3色揃えてペン立てに飾っておきたいというコレクター精神を刺激された。

デザインの優しい少しナチュラルな雰囲気から、昨今流行しているモカベージュなどの「ラテ系」カラーとの親和性が高く、また同じく流行色のくすみグリーンなどの色展開があればぜひ購入してみたいとも思う。

4. あったらいいな！こんな機能

消しゴムの色の変化や外側が一部透明になっており、目盛りなどで見えるようになっているなど内部の消しゴムの残りの量がなんらかの形で可視化されると、詰め替えのタイミングがわかりやすくなり、より便利になるのではないか。

奈良女子大学文学部 中田百合子

2020.8.25 記

■ 本稿書誌情報

『文具に関する論考と企画：奈良女子大学文具ゼミ 2020』

〔2020年度「文化社会学演習」WEB版報告書〕 <https://bungu-narajo.org/>

2020年8月1日 編集・発行 国立大学法人奈良女子大学文学部

人文社会学科文化メディア学コース 小川伸彦研究室編

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 E-mail ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp